

# CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.1 2011年1月15日号

編集: [editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告: [pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録: <http://cnar.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

### 日立ソリューションズ、クラウド型テレビ会議 多地点接続サービス開始

株式会社日立ソリューションズ(東京都品川区)は、クラウド型で提供するテレビ会議多地点接続サービスを12月6日より開始すると発表。(2010年12月6日)



図:画面イメージ

### Harmonious Cloud テレビ会議多地点接続サービス パソコン画面例(日立ソリューションズ資料)

今回始めるサービスは、日立グループのクラウドソリューション「Harmonious Cloud」のラインナップの一つで、ラドビジョン社(日本法人:RADVISION Japan 株式会社、東京都台東区)製のテレビ会議システム「SCOPIA(スコーパー)」を用いて提供する。このSCOPIAは、ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証を得たデータセンターに設置されている。

このサービスは、ユーザがインターネットを経由して利用する仕組みで、自社でテレビ会議システムや多地点接続装置を購入したり、装置の運用や保守もユーザが行ったりする必要がなく、その上、月額費用定額で利用することができる。さらには、セキュリティの面では、日立ソリューションズは、これまでさまざまなクラウド型サービスを展開してきたが、そこで活用されたセキュリティ技術を用いている。

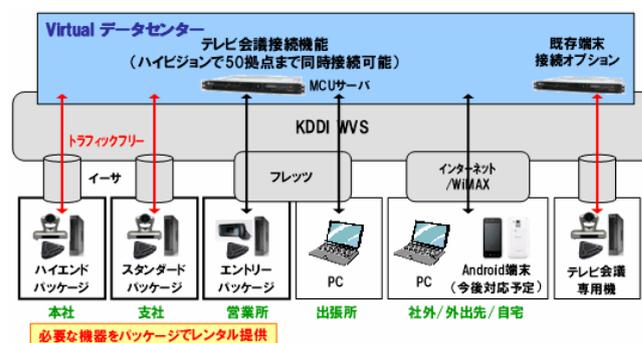
その他、資料の共有や異なるメーカーのテレビ会議システムとも接続が可能となっている。

動作環境については、パソコンでは、Windows XP(IE6.0 SP2、IE7.0、IE8.0)やWindows 7(IE7.0、IE8.0)、一方、テレビ会議端末では、ポリコム(HDX Series v2.5以降)、ライフサイズ(V4.1以降)、ソニー(PCS-G70、PCS-XG80他)、タンバーク(MXP Series、Edge Series)、アエストラ(X5、X7)で対応しているが、詳細は日立ソリューションズへの問い合わせる必要がある。

同社では、クラウドの特徴を活かして柔軟性や信頼性の高いテレビ会議多地点接続サービスの拡販を進めていきたいと考えている。

### KDDI、企業向け広域データネットワークサービスで、 テレビ会議サービスなどを開始

KDDI株式会社(東京都千代田区)は、企業向け広域データネットワークサービス「KDDI Wide Area Virtual Switch」のサービス上で展開する閉域型クラウドサービス「Virtual データセンター」に、テレビ会議も含め新たに4つの新機能の拡充を、2011年1月4日から実施する。(2010年11月28日)



### ハイビジョンテレビ会議サービス (KDDI 資料)

テレビ会議機能拡充については、ハイビジョンでのテレビ会議を手軽に利用できるサービスを提供する。今回このサー

ビスを提供するにあたって、KDDIでは、米 Vidyo 社の SVC 技術を採用した。パケットロスに強いトラフィックフリー機能対応に加え、高機能と低料金を両立するため。

会議室や外出先などの場所を問わず、テレビ会議専用端末や PC 等からハイビジョン画質でのテレビ会議を利用できるのがこのサービスの長。専用機は全てハイビジョン対応で、専用機器、カメラ、マイクをセットとするパッケージをレンタル提供する。また、H.323 や SIP に対応する既存のテレビ会議専用機器を接続できるオプションを提供する他、今後スマートフォンでの接続にも対応する予定。

費用については、サービス利用、端末レンタル、工事費となっている。

まず、サービス利用費用については、月額費用である「テレビ会議利用料」の他、オプションで提供する、「PC 接続ポート」や「テレビ会議接続数追加」、「既存端末接続」がある。ちなみに、テレビ会議利用料については、50 同時接続が 105,000 円(税込み)。

一方、テレビ会議専用端末レンタルには、「ハイエンド」、「スタンダード」、「エントリー」の 3 つのパッケージを提供する。ハイエンドでは、送受信ともにフル HD に対応しているが、それ以外については、送信は、HD、受信はフル HD となっている。費用については、たとえば、エントリーパッケージでは、HD 送信/フルHD 受信対応、USB 接続カメラ・マイクで、月額(3 年契約)で 14,070 円。レンタルサービスについては、1 年契約および 2 年契約も用意している。

なお、テレビ会議以外の新たな機能は、仮想サーバプラットフォーム、仮想デスクトップ、ファイルサーバ DR 対応オプションを提供する。

### NEC、NC1000-MV をコーデックに使用した 3 画面对応テレプレゼンスシステムを発表

日本電気株式会社(東京都港区、NEC)は、遠隔コミュニケーション製品「UNIVERGE VC3000 シリーズ」を 12 月 16 日より販売開始した。2011 年 2 月より出荷開始予定。(2010 年 12 月 16 日)

この UNIVERGE VC3000 シリーズは、テレプレゼンスの開始と終了制御に必要な中央制御システムの他、映像・音声コーデック装置、ディスプレイ(3 画面)、HD カメラ、マイク・スピーカー、タッチパネル式操作端末、モニターラックなどを「標準パッケージ」として提供するもの。コーデック装置には、NEC が販売している「NC1000-MV」を使用。

タッチパネル式操作端末には、大画面タッチパネル式 IP 電話機「UNIVERGE IP Phone DT750」を操作端末として利用できるが、今後操作端末のラインナップを順次拡大する予定という。

また、資料共有機能も標準で搭載している。その際には、ディスプレイの使い方としては、会議映像用の 2 画面と資料共有用の 1 画面で表示する。

その他、拡張オプションとして、1 拠点単位での追加が可能な「追加パッケージ」や、紙資料などを共有できる「書画カメラ」機能も用意している。

価格は、標準パッケージ(2拠点構成)で、3,700 万円(税別、以下同)から。また、追加パッケージ(1拠点)は、1,650 万円。書画カメラ(2 拠点分)については、個別見積となっている。この他、システム構築費用、回線敷設費用、電源工事費用なども別途かかる。

NEC としては、今後 3 年間で合計 500 パッケージの販売を目指す。また 2010 年 9 月に発表したオフィス向けクラウドサービス「UNIVERG Live」と連携する予定という。

NC1000-MV 関連記事: 2008 年 6 月 15 日号、2009 年 4 月 30 日号、2010 年 6 月 30 日号。

### ブイキューブの V-CUBE セミナー、iPad 対応

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、同社が提供している「V-CUBE セミナー」を iPad で受講可能にしたと発表。(2010 年 12 月 7 日)

iPad で受講可能にすることにより、ライブに特化したリアルタイム受講が可能で、セミナーへのアクセス(参加)は、招待メールの URL からワンクリックで入室ができるようになっている。ホワイトボード、チャット、アンケート機能を搭載している。

発売は、2010年12月予定。価格は、未定。同社では、今後も新デバイスや新OSに対応し、さらに開発・販売を加速させていく予定。

ブイキューブでは、常にマルチデバイス対応を強化してゆく中で、会議だけではなく、セミナーも「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」受講できるシーンを想定しており、今回のiPad対応は、ポータビリティな環境でのセミナー受講も可能にする特長があるという。



受講画面（ブイキューブ資料）



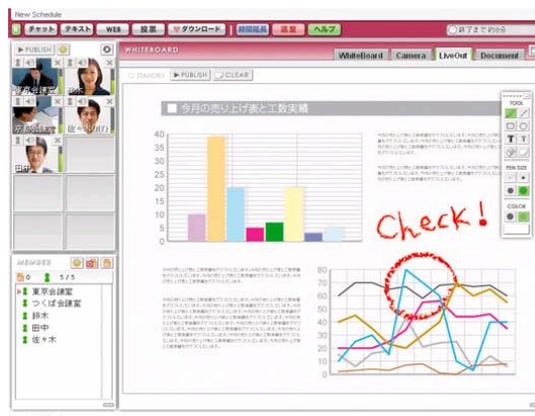
資料共有画面・縦1縦2（ブイキューブ資料）

## ロゴスウェアのWeb会議システム、無料版と有料1日レンタルを追加

ロゴスウェア株式会社（茨城県つくば市）は、同社が販売するウェブ会議システム「POWERLIVE3（パワーライブスリー）」に無料ASP版を追加することを発表した。（2010年12月3日）

インターネットのブロードバンド回線も普及し、パソコン

の性能も向上した現在、技術面で利用を妨げるものはなくなってきた。そのため、従来よりもウェブ会議に対する感心は高まっているが、業務に活かしている企業はまだ一部に留まっており、今までのミーティングの習慣を変えることが妨げになっていると見る。今回、無料版の提供を開始したのは、まずウェブ会議システムを使ってもらい、それに慣れてもらうことが今後の市場拡大にとって重要であると同社では考えた。



POWERLIVE3 画面例（ロゴスウェア資料）

POWERLIVE3 ASP 無料版は、以下の4つの制限がある以外は、ASP有料版と同一となっている。(1)2拠点間での会議/打合せに限られる。(2)共有システムとなるため、他の人が予約済み、もしくは、使用中の時間帯は使えない。(3)使用は、1習慣に1時間以内に限られる。(4)申込は、企業ユーザに限る。

同社によると、使用できる頻度や同時接続数に制限はあるが、既に多くの企業や大学で納入され利用されているPOWERLIVE3を初期費用なし、ランニングコストなしで利用できることは大きなメリットと説明する。そのため、まずは、離れた2拠点間の毎週の打合せの利用を提案する。無料版でその便利さを実感すれば、通常の有料版への移行も可能。これにより、利用頻度や同時接続拠点数を増やすことができる。

加えて、より手軽に有料版を利用できるように、有料の1日レンタルも提供する。通常は無料版を利用し、必要に応じて一日分だけの料金を支払うことで、長時間の会議や多拠点でのPOWERLIVE3使用が可能になる。一日レンタルは、

5,000 円(税別)からの提供となっている。

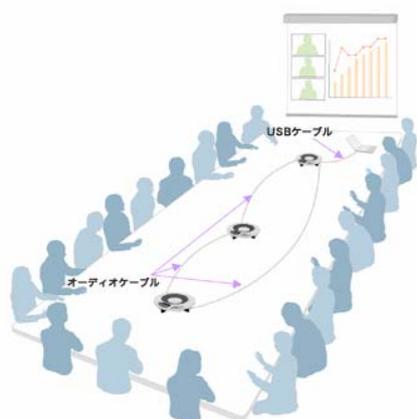
無料版を利用できる会員数は、システム増強を実施しながら今後徐々に増やしていく計画。今回、その第1期会員として先着 10 社限定で募集を開始する。

POWERLIVE3 では、映像と音声配信の他、文字チャット、共有メモ、ホワイトボード、大画面ビデオ配信、ドキュメント共有、WEB ページ共有、投票(アンケート)、管理画面(スケジュール管理、ユーザ管理、文書管理)などの機能を提供している。

### ヤマハ、会議用マイクスピーカー「PJP-50USB」と「PJP-20UR」に複数台連結機能と、外部スピーカー接続機能を追加

ヤマハ株式会社(静岡県浜松市)の販売する会議用マイクスピーカーPJP-50USBとPJP-20URが、新たに機能追加を行ったと発表。(2010年12月10日)

今回追加された機能は、同一機器同士を複数台連結する機能と、外部スピーカーを接続できる機能。ただし、外部スピーカーを接続できる機能については、PJP-50USBのみ対応。

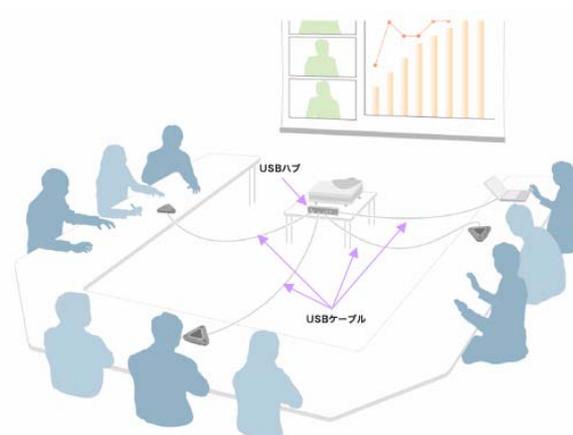


#### PJP-50USB 連結イメージ(ヤマハ資料)

連結機能を利用することで、さまざまなレイアウトや、より広い部屋での收音や放音に対応する。

PJP-50USB には、連結ファームウェアが提供されることで、最大 4 台までの PJP-50USB がオーディオケーブルに

て接続が可能になる。PC と USB 接続されている PJP-50USB については自動的に親機となり、スピーカボリューム、マイクミュートの機能は親機から一括してコントロールできるようになっている。



#### PJP-20UR 連結イメージ(ヤマハ資料)

一方、PJP-20UR については、USB ハブ(USB 連結ドライバー)を用いた連結により、1 台の PC に対して最大 4 台までの PJP-20UR を連結することが可能になる。ただ、USB については、USB 2.0 High Speed、AC アダプタを利用したセルフパワー対応の電源供給、Multiple Transaction Translator 機能に対応している必要がある。

次に、PJP-50USB のみ対応した外部スピーカー接続機能については、PJP-50USB の AUDIO OUT 端子に外部スピーカーを接続することで、より大きな音量による会議を実現する。その際の推奨スピーカーは、ヤマハ「MSP-3」(希望小売価格(税込み):18,900 円/1本)。

上記、PJP-50USB ファームウェアについては、1月中旬から、また、PJP-20UR 用 USB 連結ドライバーは、2月中旬から、それぞれ同社のホームページ上にて無償で提供開始する。一方、PJP-50USB 用外部スピーカー接続については、2月下旬を予定している。

PJP-50USB は、8 人程度までの中規模会議室での使用に適している会議用マイクスピーカー。PJP-20UR は、4 人程度までの小規模会議室に適した小型・軽量の Web 会議用マイクスピーカー。

## ラドビジョン、iPhone、iPad 向け拡張 H.239 データ共有機能の提供を開始

RADVISION Japan 株式会社(東京都台東区)は、「SCOPIA モバイルバージョン 2」を発表した。(12月7日)  
この SCOPIA モバイルバージョン 2 は、ビデオ会議やテレプレゼンス会議で使われるプレゼンテーションや、表計算、ドキュメントおよびイメージ画像などを、H.239 データ共有によって iPhone や iPad で閲覧することを可能にするもの。即日からアップルストアから無料アプリとしてダウンロードできる。

iPad 向けアプリは、大画面と解像度に最適化されており、一方、iPhone 向けアプリは、iPhone の電話機能に加え、高解像度の Retina ディスプレイに最適化されている。

また、このデータ共有は、同社が最近発表した「SCOPIA バージョン 7.5」のアドバンス・データ共有ソリューションに基づいている。標準の H.239 を越える拡張性を持つのが特徴。会議資料をリアルタイムで閲覧するだけでなく、他の参加メンバーに邪魔することなく、さかのぼって自分だけで閲覧することが可能。加えて、iPhone であれば、音声でのビデオ会議も可能となっている。

提供する機能としては、以下がある。(1)アドバンス・データ共有、(2)iPhone の音声電話でビデオ会議に参加したり、iPhone にコールバックさせたりする機能、(3)会社のディレクトリーから、参加メンバーを会議に招待する機能、(4)参加メンバーのミュート、リモートカメラの停止、メンバーの強制退出、ビデオレイアウトやレイアウト内の参加メンバーの位置の変更。(5)録画やストリーミングの開始・停止、会議のロック、会議時間の延長、会議の終了、(6)音声やビデオ、解像度、通信速度、パケットロスなどの統計情報。

## ルーシッド、無料電話会議サービスを開始

ルーシッド株式会社(東京都渋谷区)は、無料電話会議サービス「BizSpeak・ビズスピーク」を、12月20日より提供開始した。(2010年12月20日)

同社では、2008年より販売提供している音声アプリケー

ションサーバー「Voice Integration Server」の電話会議機能の一部を無料サービスとして公開し、提供することにした。

BizSpeak・ビズスピークの特長は、一般の通話料のみでノーコストで電話会議を利用できる点。登録不要で、初期費用無料、ユーザ情報の登録も一切不要となっている。

月額基本料や利用料についても無料となっている。ただ、電話会議用のアクセスポイントまでの電話料金については、利用者が実費を負担する。その他、会議開催時に発行される無料 ID は、15秒という速さでスピード発行されるという。

BizSpeak・ビズスピーク電話会議サービスは、利用用途にあわせて、電話会議のモードを、「一般会議モード」、「プレゼンテーションモード」、「Q&A モード」より自由に選択できる。また、利用時間に制限がなく、また会議で最大 250 回線までの利用に対応している。

3つのモードの違いは、基本的にミュート設定にある。一般電話会議モードでは、双方向で会話ができるが、プレゼンテーションモードは、電話セミナーに最適なモードで、主催者のみの声に参加者全員に聞こえ、参加者の声は、自動ミュートされる。他方、Q&A モードでは、電話セミナー中の質疑応答に利用でき、一時的に特定の参加者のミュートを解除し、発言権を与えることができる。

ルーシッドは、2008年設立。災害時の緊急連絡、学校の緊急連絡の他、リサーチ、督促、予約確認、電話会議などといった音声アプリケーションの開発とコンサルティングをトータルに展開している。

## 匠技術研究所とフュージョン・コミュニケーションズ、携帯での電話会議サービスの提供開始

株式会社匠技術研究所(神奈川県川崎市)は、SaaS型電話会議サービス「伝わる君」を、12月15日より企業向けに提供を開始する。(2010年12月15日)

伝わる君は、主に携帯電話からの利用を想定した電話会議サービス。サービスは、オープンソースソフトウェア「Asterisk」で構築され、通信基盤には、楽天グループの通信会社であるフュージョン・コミュニケーションズ株式会社(東京

都千代田区)が提供する「Fusion IP-Phone」を利用している。

Eメールによる招集機能や伝言機能を持ち、初期設定費用の3,150円(税込み、以下同じ)と月額基本料金315円/1会議グループのみ。一般的に電話会議は、1分20円から30円といった従量課金で提供されているが、この伝わる君は前述のAsteriskを使用しているため、会議時間に応じた利用料金については、無料にしている。

楽天モバイルやFUSION IP-Phoneでの通話であれば、アクセスポイントまでの通話料も無料となっている。しかし、携帯電話については、アクセスポイント(FUSION 050 番号)までの電話料金はかかる。

なお、伝わる君は、川崎起業家オーディション ビジネスアイデアシーズ市場において、川崎起業家賞、川崎商工会議所会頭賞、はまぎん賞の3つの賞を受賞した。

## パナソニック ソリューションテクノロジー、クラウド対応型 Web 会議サービスの新バージョンを発表

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社(東京都港区)は、クラウド対応型 Web 会議サービス「リアルタイムコラボレーション」の新バージョン(Ver.7.6.2)を2010年8月17日から発売している。(2010年8月17日)

新バージョンでは、ASPサービスによるルームバリエーション(会議室のこと)と、ライセンス価格の見直しを行っている。同社は、新バージョン提供によって、さらにユーザの利用実態に合った利用契約を可能にする狙いがある。

まず、ルームバリエーションについては、従来のルーム5/10に加えて、ルーム2/3/15/20の4タイプを追加。加えて、議長モードや用途に合わせた画面レイアウト、さらには、今回新たに高解像度カメラ(720dpi)に対応したルームも用意する。

また、ライセンス価格の見直しについては、通常月額設定に対して、6ヶ月パック、12ヶ月パックのASPサービス価格を設ける。

さらに、ルームタイプについては、各ルームサイズ(同時接続ID数)によって月額利用料金を設定している。今回の追加によって、同社で提供するルームタイプは以下の通りになる。ルーム2、ルーム3、ルーム5、ルーム10、ルーム15、ルーム20。リモート保守や遠隔教育、社内会議や在宅勤務、議長を設定して行う全体会議や集合教育などの用途に応じて最適なルームサイズが選択できると説明する。

パナソニック ソリューションテクノロジーは、登録ID無制限、利用時間無制限の月額固定料金で利用できるASPサービスの他、オンプレミスサーバー版やプライベートクラウドASPサービス版も用意している。標準機能として、音声通話、Webカメラ映像表示、アプリケーション共有、デスクトップ共有、リモートアクセス、ホワイトボード、テキストチャット、ファイル転送、帯域制御(音声、カメラ、アプリのチャンネル毎に通信帯域を設定)、議長モード(議長以外は音声ミュートがかかる)、画面レイアウトがある。

このリアルタイムコラボレーションは、パナソニックグループにおける標準Web会議サービスとして、グループ社員約8万人に活用されている会議サービス。2005年4月のASPサービス開始以来、製造業・サービス業、流通業・教育機関など業種業態を問わず幅広いユーザに利用されているという。

## ビジネス動向-国内

### VTV ジャパン、エイネットの Web 会議システム「Fresh Voice」の販売を開始

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、Web 会議システム「Fresh Voice(フレッシュボイス)」の販売を開始すると発表。(2010年12月9日)

今回販売を開始する Fresh Voice は、エイネット株式会社(東京都千代田区)が開発したシステムで、官公庁や国立大学など2,000社の導入実績がある。

VTV ジャパンは、Fresh Voice の販売を機に、より多角化する企業内コミュニケーションのさまざまなニーズに包括的に応え、テレビ会議と Web 会議それぞれの特長を活かした製品販売を行っていく考え。1対1の会議だけでなくグループ会議

での活用まで、音声と映像の拡張を含めたソリューションも提案していく。

Fresh Voice は、PC とインターネット接続環境があれば、すぐに Web 会議が行え、ブラウザ共有 (HTML ページ)、デスクトップ共有、ドキュメント共有 (Word や Excel など。ポインターやペイントツールもある。)、録音・録画機能 (オプション) などの機能を提供している。

GIPS 社が開発した「GIPSVoice Engine (ジップスボイスエンジン) を採用することで音声の遅延を最小限にとどめ、長時間の会話でも疲れない聞き取りやすいクリアな音声を、また、映像に関しては、それぞれのフレームを JPEG 形式で圧縮・伸張したものを連続表示することで動画処理しており、ブロックノイズを排除したスムーズな映像となっているという。

VTV ジャパンは、2010 年 12 月 9 日より、Fresh Voice の販売を開始し、1 年間で 100 ユーザ、1 億 6000 万円の販売を目標としている。販売価格は、160 万円～(参考価格)となっている。

## ビジネス動向-海外

### Citrix Systems 社、独 SaaS 型 Web 会議サービス Netviewer 社を買収、欧州展開を強化

米 Citrix Systems 社は、独の SaaS 型 Web 会議サービスを提供する Netviewer 社を買収を発表した。(2010 年 12 月 17 日)

買収は、2011 年の早い時期には、完了する予定という。買収金額は未公表。Citrix System 社の Web 会議事業部門 Citrix Online に統合される。Citrix Online では、「GoToMeeting」Web 会議サービスを提供している。

Netviewer 社は、2001 年設立。本社は、ドイツ カールスルーエ。社員は、220 名。英、仏、独、スイスなど欧州各国を中心に 18,000 社以上の企業に導入されているという。

Citrix Systems 社は、Netviewer 社の Web 会議サービスを統合することで、欧州における事業の拡大を加速し、リーダーシップを確保することを目指す。

カールスルーエの Netviewer 社は、Citrix 社の欧州展開の拠点として買収後も存続するという。今回の買収にあわせて、Robert Gratzl 氏 (CNA レポート補足: Netviewer サイトによると、CFO として紹介されている。) が、Citrix Online EMEA 担当バイスプレジデント兼ジェネラルマネージャに就任する。

## 導入・利用動向

### 進学教室 浜学園、SOBA プロジェクトのテレビ会議を使いインターネット個別学習指導サービスを提供開始

進学教室 浜学園 (兵庫県西宮市) は、株式会社 SOBA プロジェクト (京都市下京区) と協業し、SOBA プロジェクトのテレビ会議システムを使ったインターネット個別学習指導サービス「Web プライベートレッスン」を、2011 年 1 月 5 日から開始すると発表。(2010 年 12 月 17 日)



### Web プライベートレッスン (浜学園、SOBA プロジェクト資料)

Web プライベートレッスンでは、テレビ会議システムを使うことで、受講生が自宅にいながら、学習の中で生じる疑問や質問について、指導講師 (京都大学の学生が行う。) から直接指導を受けることができる。小学 2 年生から 6 年生の自宅学習コース「Web スクール」において提供される。顔を見ながらの直接個別指導のため、従来浜学園で行ってきた、動画

映像を配信し、自宅で視聴する方法よりも、学習の達成度をより高めることができるという。

Web スクールは、2010年3月に、遠距離などの理由で通塾したくても通えない方を対象にインターネットによる自宅学習コースとして開設。自宅から動画映像を視聴しながら、浜学園の通塾する「一般コース」のテキストと同一のものを使用した指導を行ってきた。

しかし、Web スクールは、自分のペースで学習をすすめることができる利点がある一方で、学習の進捗や達成度も本人にゆだねられる部分が多い。そこで、浜学園では、Web スクールにおける学習フォロー体制の強化を模索していた。

今回の Web プライベートレッスン提供においては、浜学園が Web スクール全体の運営管理を行い、一方で、SOBA プロジェクトは、インターネットを使ったテレビ会議システムの提供と、Web スクール運営時のサポート、および、協力会社を通じて京都大学の学生講師の提供支援を行う。

#### 進学教室 浜学園

<http://www.hamagakuen.co.jp/>

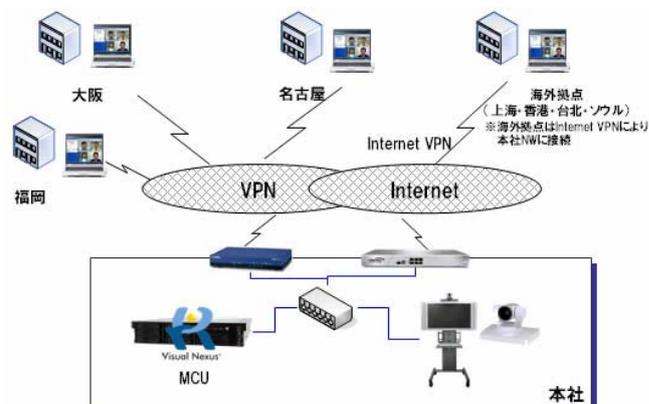
### 東京商会、沖電気工業の Visual Nexus を国内外の拠点に導入

沖電気工業株式会社(東京都港区)は、株式会社 東京商会(東京都千代田区)に、ビデオ会議システム「Visual Nexus」を納入したと発表。(2010年12月20日)

東京商会では、上海、香港、ソウル、台北の海外4拠点と本社を含む国内4拠点に Visual Nexus を導入した。本社には、Visual Nexus と接続互換性のあるテレビ会議専用端末を導入し、その他の拠点では、PC 端末とした。

定例的な会議だけでなく、日常的な打合せなどに活用することで、地理的・時間的に隔たった拠点間でのコミュニケーションの効率化を実現する目的だ。海外出張の頻度の減少による出張費の削減の他、拠点間での正確かつ深い意思疎通により全社的な一体感の醸成へ寄与していると東京商会では評価しているという。加えて、今回専用端

末とPC 端末の組み合わせ導入によって、導入コストの抑制とシステム導入の早期立ち上げも可能になったという。



東京商会、導入システム構成イメージ (沖電気工業 資料)

東京商会は、エンジニアリングプラスチックの原料・シート・フィルムなどの仕入れ・販売を主体とする合成樹脂事業と、電子材料および工業薬品を包括的に取り扱う電材機能製品事業を国内外で展開しており、ここ数年来、海外での事業売上比率が拡大し、全社の売上の50%近くを占めるようになったため、国内拠点とアジア各国の拠点との緊密な意思疎通がますます重要になった。

しかし、情報の共有化において、従来の電話やメールだけでは、相手の意図が十分にくみ取れないことや、情報共有のタイムラグが生じることがあり、海外拠点との連携に課題を抱えていたという。そこで今回のビデオ会議システムの導入となった。

株式会社 東京商会 <http://www.tokyoshokai.co.jp/>

### ポリコムと Glowpoint、Kiehl's Since 1851(キールズ)社の記者発表会において、テレプレゼンスソリューションをグローバルで提供

米ポリコム社と Glowpoint 社は、Kiehl's Since 1851(キールズ)社の記者発表会において、テレプレゼンスソリューションをグローバルで提供したと発表。(2010年12月2日)

Kiehl's Since 1851 は、150年以上前にニューヨークに設立された、スキンケア、ボディケア、ヘルスケア製品を提供する米企業。同社が販売した限定商品「キールズ クレム ドゥ

コール ホリデー コレクション」の販売による純利益の一部（20 万ドル）を、児童失踪・児童虐待国際センター（International Center for Missing and Exploited Children, ICMEC）へ寄付することを発表するために、テレプレゼンスを使い記者発表会（7 月実施）を行ったもの。招待された記者は、東京、ソウル、香港、シンガポール、マドリッド、サンパウロ、トロントにあるポリコム社のテレプレゼンスソリューションから参加。ネットワークは、Glowpoint 社の提供するマネージドサービスで接続し実施された。

記者発表会におけるテレプレゼンスの効果については、直接対面が行える臨場感をテレプレゼンスが実現するという点と、そのテレプレゼンスを通じた情報伝達に必要なあらゆるサポートが得られるという点を、ポリコム社は指摘する。

ポリコム社が提供するイマーシブ テレプレゼンス ソリューションに加えて、マネージドサービスについては、Glowpoint 社やその他のサービスプロバイダーと協力して、24 時間 365 日の体制で会議の監視、障害管理、ソリューションの利用に関するレポート/予約/スケジュールなどを包括的ソリューションの一環として提供している。

キールズ日本サイト：<http://www.kiehls.jp/>

## 市場動向

### シード・プランニング、テレビ会議/Web 会議/音声会議のビジネス利用実態調査

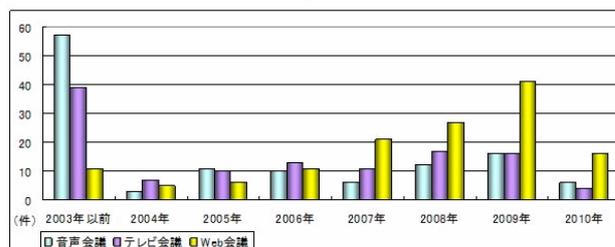
株式会社シード・プランニング（東京都台東区）は、テレビ会議/Web 会議/音声会議のビジネス利用実態調査を実施し、その結果をまとめた。（2010 年 12 月 6 日）

本調査は、業務で利用しているビジネスユーザを対象に 2004 年以来毎年（2006 年以外）実施しているインターネットによる調査の第 6 回目。利用状況や評価等について調査を行い、利用ユーザの動向とニーズを分析した。有効回答 540 名。調査期間は、2010 年 8 月から 10 月 15 日。

また、今回の調査レポートでは、過去 5 回と比べての変化が明確になるように工夫されているとともに、新たにテレビ会議専用端末に関する質問も追加した点が特徴となっているという。

結果のポイントについて。まず、導入時期については、2003 年以前では、テレビ会議や音声会議の導入が多かったが、2007 年から Web 会議の導入が増えてきていると同社では報告している。

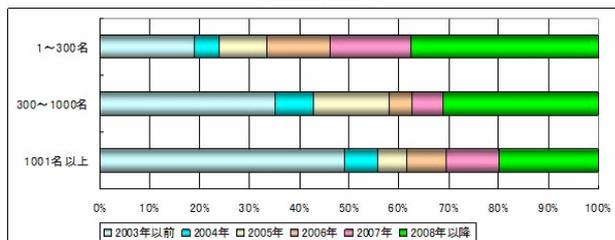
タイプ別導入時期



(シード・プランニング作成)

### タイプ別導入時期（シード・プランニング資料）

会社規模別導入時期



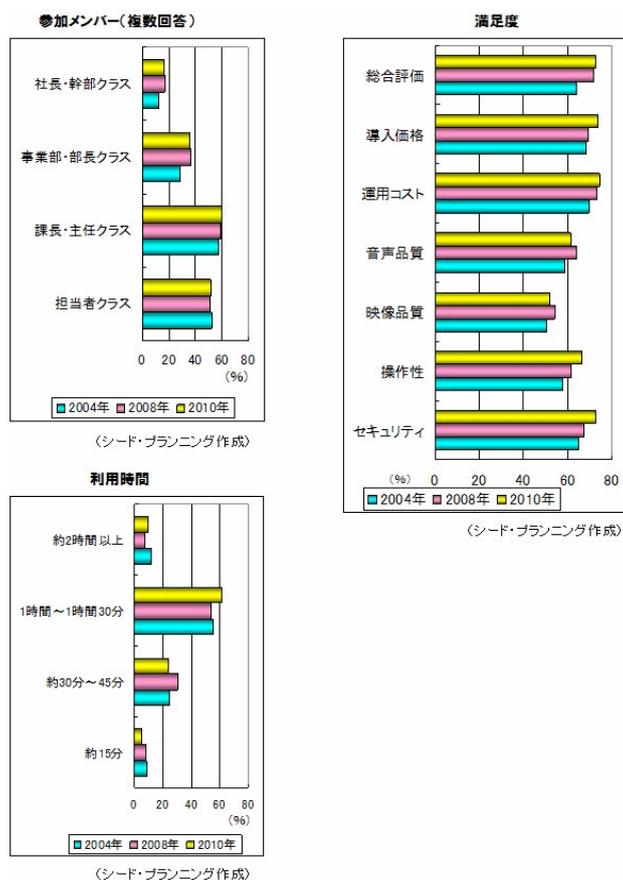
(シード・プランニング作成)

### 会社規模別導入時期（シード・プランニング資料）

有効回答者 540 名のうち、2003 年以前に導入したユーザは、音声会議については、57 名、テレビ会議は、39 名、Web 会議は、11 名であったが、一方、2007 年に導入したユーザについては、それぞれ、6 名、11 名、21 名となり、Web 会議導入が増えている。その後も、傾向は変わらず、2010 年調査時では、音声会議については、6 名、テレビ会議は、4 名、Web 会議は、16 名となった。

次に導入企業の規模別では、2003 年以前では、導入の主流は、大企業で、300 名以下の小企業では、2007 年以降に導入が増えている傾向を見せているという。

2003 年以前では、1001 名以上の大企業では、47%が導入しており、それに対して、301 名から 1000 名の中企業では、35%、300 名以下の小企業は、19%であった。これが、2008 年以降では、300 名以下の小企業が、38%、301 名から 1000 名までの中企業が 31%、1001 名以上の大企業が 19%となった。



#### 参加メンバー、利用時間、満足度(シード・プランニング資料)

2004年から2010年までの継続調査の結果について、6年間の変化のポイントとしては、以下を挙げる。会議の参加メンバーについては、社長・幹部クラスおよび事業部・部長クラスは微減で、課長・主任クラスが増加傾向にある。一方で、利用時間については、「1時間～1時間半」の利用が増加している。

調査レポート名は、「テレビ会議/Web会議/音声会議のビジネス利用実態調査2011」(税込み価格:168,000円、発行10月22日)。

#### 製品・サービス動向-海外

imagicle社、Skypeと、国際標準に対応したテレビ会議システムとの接続を可能にするゲートウェイを発表

イタリアのimagicle社は、Skypeと、国際標準に対応したテレビ会議システムとの接続を可能にするゲートウェイ「SkyStone Video」を発表した。(2010年11月)

このSkyStone Videoは、H.323やSIPのテレビ会議端末との通信を可能にするソフトウェアゲートウェイ。スカイプからゲートウェイを経由したテレビ会議端末への接続、あるいは、テレビ会議からスカイプへの接続を可能にする。提供形態は、Windowsサーバーにインストールするタイプで提供。

映像コーデックには、H.263とH.264、音声コーデックには、G.711とG.729に対応している。ひとつのSkyStone Videoあたり、最大4チャンネル(回線数)まで提供しているが、ライセンスオプションとしては、それぞれ1、2、4でライセンスを提供している。使用帯域は、1チャンネルあたり、128kbpsから384kbpsと同社サイトで説明している。4より多いチャンネル数を必要とする場合は、SkyStone Videoを複数台導入する形になる。

推奨端末は、シスコシステムズ、ライフサイズ、ポリコム、ラドビジョン、ソニー、タンバーク、エンブレイズ VCONなどのH.323もしくはSIPに対応したテレビ会議端末が対象。その他の端末なども含め詳細は同社確認要。

SkyStone Videoは、15日の無料トライアルサービスを提供している。ソフトウェアは、同社のサイトからダウンロードする。ただし、1コールあたり1分までの通話という制限がある。またサポートも提供されない。そのため、imagicle社は、サポート付きの有償PILOT PROJECTサービスを推奨している。

#### Vivu社、マイクロソフト Lync 向けの多地点テレビ会議システムを発表

米Vivu社は、「VuRoom Multiparty Videoconferencing for Microsoft Lync」を発表した。(2010年11月24日)

VuRoom for Lyncは、マイクロソフトのユニファイドコミュニケーション Lyncと連携させることで、多画面分割(CP)による多地点テレビ会議が行えるもの。HDに対応している。また、Lyncのみであれば、発言者のみが画面に映し出される形だが、このVuRoom for Lyncを連携させることで、発言者を含めた最大8名まで(また同時に表示する参加者も同数)表示す

ることができる多画面分割の多地点が可能になる。



#### VuRoom for Lync (Vivu社 資料)

オプションとして、Lync のユーザ以外も会議に参加できるようにする機能も提供している。また、資料共有も提供しており、たとえば、パワーポイントのアニメーション再生も可能という。

VuRoom は、SIP ベースのテレビ会議システムやテレプレゼンスとの連携が容易で、ポリコム、タンバーク、ライフサイズなどの各テレビ会議製品との接続が可能という。また、同社では、すでに Skype 向けの多地点テレビ会議を可能にする上記と同様のプラグイン「VuRoom for Skype」や、ストリーミング向けの「VuCast」も提供している。Windows や MacOS に対応し、iPad や iPhone への配信も可能だ。同社から提供されている各製品は、SaaS あるいは、オンプレミス（社内導入）で導入が可能だ。

Vivu 社は、シスコやアルカテルルーセント社での経験がある人達が設立したベンチャー企業。Draper Fisher Jurvetson 社、Inventus Capital Partners 社、Quest Venture Partners LLC 社、Amidzad 社などのベンチャーキャピタルからの出資を受けて設立されている。

### ポリコム、マイクロソフトの Lync とのネイティブな相互運用性を発表

米ポリコム社は、マイクロソフトの「Microsoft Lync Server 2010」向けに音声およびビデオソリューションポートフォリオを包括的に強化することを発表。(2010年11月25日)

Microsoft Lync は、電話、インスタントメッセージ、プレゼンス、音声会議、ビデオ会議、オンライン会議の機能を単

一インターフェイスに統合したコミュニケーションシステム。ひとつの ID を使って相手先の検索、プレゼンスの確認・接続を行えるとともに、「Microsoft Office」との連携もできる。

今回の強化によって、ポリコムの「Polycom HDX シリーズ」ビデオ会議システムと、「Polycom RMX」メディア会議プラットフォームを含む「Polycom UC Intelligent Core」インフラストラクチャは、UC ソリューションポートフォリオとして、Microsoft Lync と相互運用性を備えることになる。また、HD ビデオ通信に必要な帯域幅を最大 50%削減することができる H.264 ハイプロファイル技術や、マイクロソフトの RTV コーデックもサポートされる。さらには、Polycom UC Intelligent Core は、Microsoft Lync Server 2010 Edge Server を使用してファイアウォールを通過させることが可能となっている。

なお、この UC ソリューションには、「Polycom CX500」、「Polycom CX600」IP 電話機、「Polycom CX 3000」IP 音声会議システムも含まれる。これら Microsoft Lync 向けソリューションでは、シングルサインオンなどの時間短縮機能、カレンダー機能、高度なプレゼンスを表示するカラーディスプレイなどの特長がある。

今回の発表にともない、ポリコムは、チャンネルパートナー向けに、マイクロソフト向けソリューションをスムーズに提供できるための専用プログラムを提供する。ポリコムとマイクロソフトパートナー向けの専門コースでは、コラボレーション・開発・商品化への取り組みなどの専用リソースを、2011 年前半に各地域で提供する予定という。

ポリコムによると、今回発表されたビデオの相互運用性については、2011 年第一四半期に提供を開始する予定という。

### セミナー・展示会情報

#### < 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程：2011年1月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)

※全ての日程で 13:30~14:30、15:30~16:30 の 2 回開催

会場：NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催：日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

### ビデオ会議システム“徹底的使いこなし”セミナー ～時代の変化、ニーズに合った業務のあり方とは～

日時:1月19日(水)14:30～17:00(受付:14:00)  
場所: パナソニック電気インフォメーションシステムズ  
東京オフィス セミナールーム(東京都港区)  
主催: パナソニック電気インフォメーションシステムズ株式会社  
共催: シスコシステムズ合同会社  
詳細・申込: <https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/141>

### ビデオ会議システム“徹底的使いこなし”セミナー ～時代の変化、ニーズに合った業務のあり方とは～

日時:1月19日(水)14:30～17:00(受付:14:00)  
場所: パナソニック電気インフォメーションシステムズ  
梅田セミナールーム(大阪市北区)  
主催: パナソニック電気インフォメーションシステムズ株式会社  
共催: シスコシステムズ合同会社  
詳細・申込: <https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/138>

### 実践! ビジネスクラスのPC/Web会議、最新活用セミナー ～費用対効果の高い、プライベートクラウド型ビジュアルコミュニケーションはこれだ!～

日時:2011年1月21日(金)、26日(水)  
13:30～15:40(開場 13:00) \*両日同時時間、同内容。  
会場:VTV ジャパン、東京本社大会議室、大阪オフィス大会議室  
\*東京と大阪同時開催。  
主催:VTV ジャパン株式会社  
詳細・申込: [http://www.vtv.co.jp/seminar/1101\\_webconference/index.html](http://www.vtv.co.jp/seminar/1101_webconference/index.html)

### 劇的経費削減をもたらすWeb会議選びのポイント Web会議各社の比較と選定のポイント/Webボード3.0の紹介

日時:2011年1月28日(金)13:00～16:00  
会場:オンライン遠隔セミナー  
主催:ニューロネット株式会社、ライド株式会社  
詳細・申込: [http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html#sb\\_seminar2](http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html#sb_seminar2)

### V-CUBEが提唱するこれからのビジュアルコミュニケーションとは～iPad、スマートフォンで実現する新しいコミュニケーションのカタチ～

日時:2011年1月31日(月)15:30～17:00(受付:15:15)  
会場:ブイキューブ本社(東京都目黒区)  
主催:株式会社ブイキューブ  
詳細・申込: <http://www.nice2meet.us/ja/news/index2.php?id=468>

### HPユニファイドコミュニケーションセミナー ～PBX、TV会議 その先のソリューションとは?～

日時:2011年2月15日(火)14:30～16:50(受付:14:00)  
会場:青山ダイヤモンドホール(東京都港区北青山)  
主催:日本ヒューレット・パッカード株式会社  
協賛:日本アバイア株式会社、ポリコムジャパン株式会社  
詳細・申込: <http://h50146.www5.hp.com/events/seminars/info/seminar7.html>

### <海外>

#### The WR Visual Communications Summit(有料)

日時:2011年1月31日～2月1日  
会場: Integrated Systems Europe - Amsterdam と同会場  
主催:Wainhouse Research, LLC  
詳細・内容: <http://www.wainhouse.com/events.php?sec=34&opt=upcoming&event=395>

#### TeleSpan's Sixth Annual Future of Conferencing Workshop (有料、アーリバルト割引2月1日まで)

日時:2011年3月17日-18日  
会場:Palace Station(米国ラスベガス)  
主催:TeleSpan Publishing Corporation  
詳細・申込: <http://www.telespan.com/workshop/index.html>

### 平成23年新春対談



VTV ジャパン 代表 栢野 正典 氏と、CNAレポート・ジャパンの橋本とで、平成23年新春対談「ビジュアルコミュニケーションの今」の新春対談をさせていただきました。よろしければ、ご覧いただければ有り難いです。

<http://www.vtv.co.jp/intro/taidan/201101.html>

### 編集後記

本年も何卒宜しくお願い致します。

個人事業で行っているCNAレポート・ジャパンの事業は、今年の7月で10年になりますが、事業を立ち上げ、それを維持しながら成長させていくことの大変さを改めて実感しています。しかし、私自身の遠隔会議への本当の気持ちも改めて確認できましたし、また、事業にとって何が一番大切かを学びました。貴重な財産だと思っています。山あり谷あり、川あり、海あり、の事業の面白さもわかってきました。

事業立ち上げとしてはまだまだですが、ここまで継続できたのも皆さん(私と面識のない方も含め)のお陰です。ありがとうございます。

今後も役に立つ情報発信ができるよう努力したいと考えています。今年も何卒よろしくお願い致します。今年もいろいろと動きがある年になりそうな予感がしています。

CNAレポート・ジャパン 代表 橋本 啓介